

AMBITION

北海道大学病院

臨床研修センター

Resident NEWS letter

2019 season4 (18) 2020.03.発行

修了おめでとうございます

3月13日に予定されていた修了発表会・祝賀会は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、残念ながら中止となりました。2年目研修医の皆様への門出を皆さんでお祝いすることはできませんでしたが、皆様の修了、心よりお祝い申し上げます。2年間の研修、お疲れ様でした。今後のご活躍を心よりお祈りしています。



最優秀演題賞 小島 圭祐 先生

「後天性免疫不全症候群を発症した
コミュニケーション困難なネパール人の1例」

2年目研修医から提出された抄録およびスライドについて、医師臨床研修専門委員会で厳正なる審査を行った結果、今年度は、「最優秀演題賞」として、小島圭祐先生が選ばれました。小島先生、おめでとうございます！
なお、抄録審査により発表者として選出されていた研修医は下記の10名の方です。

目の前の患者のために：MRSA肺炎の加療を通じて
訪問診療を通じてチーム医療を考える
初期臨床研修で最も後悔の残る症例
完全な医療ガイドラインはつくりえないのか：数学基礎論から考えるアルゴリズムの完全性
POIKTMPの1例
思い出に残った脳梗塞10例
地域研修で学んだ慢性期精神疾患におけるリハビリ過程について
後天性免疫不全症候群を発症したコミュニケーション困難なネパール人の1例
同種心移植術を施行した1例
研修生活を振り返って

久々 湊 雅
有銘 勇登
國下 大輔
松村 直也
関 太樹
籾本 拓也
尾崎 孝爾
小島 圭祐
渡部 克将
藤田 幸大

今年は、スライド発表も研修医による審査も行うことができませんでしたが、大変興味深い内容のスライドがたくさん提出されていたので、ぜひ、研修医控え室のファイルをご覧ください。

修了おめでとうございます

臨床研修センター教員から研修医の皆さんへ

研修医のみなさん、2年間の研修医生活、大変お疲れ様でした。医師のライセンスを獲得して初めての診療経験はさしずめ波瀾万丈であったことでしょう。締めくくりの様々なセレモニーがコロナウイルス騒ぎで残念な事になりましたが、今回の騒動を通して医療がどれほど人々の社会生活の基盤を支えているか、また、医療者がどれだけ特殊かつ重要なmissionを与えられているかが理解できたのではないのでしょうか。

皆さんは今、「成長」過程のまっただ中にいます。そのゴールをどこまでも高く、大きく設定して下さい。スティーブ・ジョブズは『「自分なら世界を変える事が出来る」そんなことを本気で信じた人達が、この世界を変えてきたのだ。』と言いました。つまりきそうな時は本紙のタイトル「Ambition」を思い出し、困難を乗り越えてくれると信じています。北大病院臨床研修修了者としての誇りを胸に、専門医資格取得に向かって精一杯努力して下さい。

臨床研修センター センター長 平野 聡

北大プログラム2年目研修医の皆様、無事2年間の初期研修を修了し、先生方が医者人生の新たな一步を踏み出したことを大変嬉しく思います。世界が大変な状況となり、これから現場の第一線で働く先生方はいろいろな困難に直面するはずです。また、今までは何をすることも指導医の許可が必要だったわけですが、これからは幾度となく自分で判断しなければならない状況に遭遇することになります。しかし、常に自身を切磋琢磨し、現時点での最高の医療を提供すること、周りの声に耳を傾け、改善すべきは直していく態度はチーム医療には必須です。皆様さらに医者として成長していくことを陰ながら応援しております。研修修了、おめでとうございます！

臨床研修センター 加藤 達哉

2年間に渡る初期研修修了おめでとうございます。長い医師としての第一歩を無事踏み出した先生方にエールを贈ります。初期研修医のひとときを一緒に過ごした仲間や先輩、同僚との繋がりは、将来のキャリアにおいても大きな糧になります。今後の専門研修では、主治医としての責任も増し、精神的にも肉体的にも負担を大きく感じるかもしれません。それぞれの分野でロールモデルとなる医師を見つけ、アドバイスを受けながら成長していきましょう。先生方の未来が輝かしいものになるよう5年後、10年後の自分を思い描きながら目標に向かって進んでいきましょう。臨床医としてだけでなく、研究者として、指導者としても自身を磨き、ご活躍されることを祈念しております。

臨床研修センター 小野澤 真弘

